

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	この事業所が更に地域の中に根付けるようにする	全職員が地域密着型サービス提供事業者としての理念を理解し、それに向けてサービスを展開する。	全職員が理念を共同で作り上げることで、職務の指針を明確にする。	2ヶ月
2	6	気付かずにしている高齢者虐待がないか、不適切なケア、言動がないか、定期的に施設で見直す。	管理者や職員は「虐待防止関連法」について学び、事業所内外での虐待が見過ごされることがないように、注意を払い防止に努める。	継続的に研修を行うと共に、管理者は職員のスプレスマネジメントを実施したり、日々の職員の様子(言動や表情)にも着眼し、気持ちを察する意識を持ち続ける為に勉強会などで定期的に話し合いの場を持つ。	12ヶ月
3	35	最近地震や水害などの天災が頻繁に起こり、一般の人々の防災や避難に対する意識が高くなっている。大勢が住む施設においても、いざという時の心得や意識が必要。	火災や地震、水害等の災害時に昼夜問わず入居者が避難できる方法を全職員が身につける。	消防訓練など定期的に行い、職員全員が対応や役割を把握する。運営推進会議時、オブザーバーとして消防の方にも出席して頂き、避難方法、場所の確認や専門的な知識を頂けるよう会議参加の協力を願ってみる。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月